



日興・ピムコ・グローバル短期債券ファンド(愛称:債蔵)

マイナス金利時代の投資アイデア

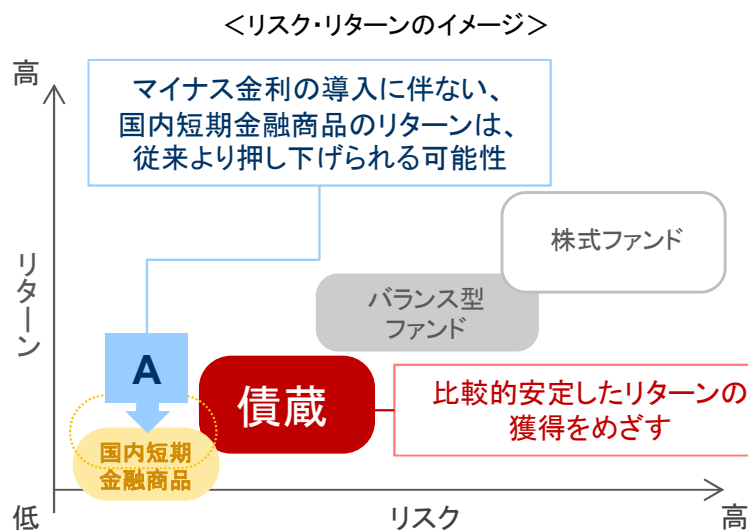
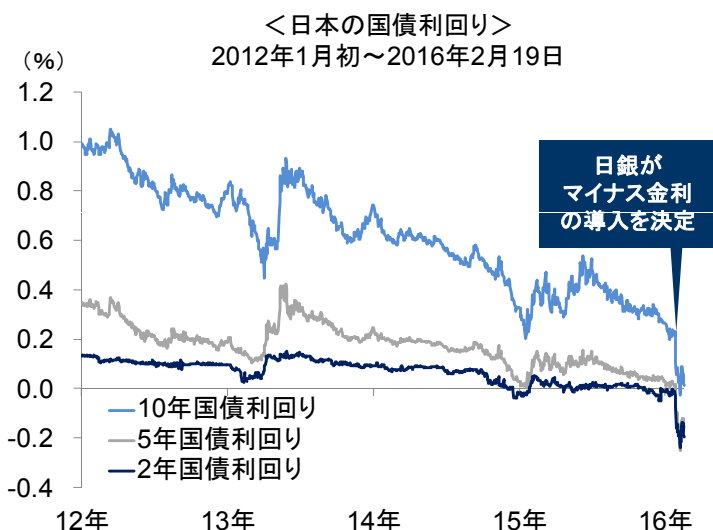
～ピムコ社からのメッセージ～

当資料では、これからの資産運用に対する考え方などについて、投資顧問会社である、ピムコジャパンリミテッド(以下、ピムコ社)からのコメントをご紹介しますとともに、「日興・ピムコ・グローバル短期債券ファンド(愛称:債蔵)」の魅力などについてお伝えします。

資産運用ツールとしての債蔵の魅力

- 1月29日に日銀がマイナス金利の導入を決定したことを受け、日本の国債利回りは低下傾向となっています。こうした中、国内短期金融商品のリターンは、従来から押し下げられる可能性が考えられ、これからの資産運用においては、より利回り水準を意識した投資が求められるとみられます。
- 当ファンドは、世界各国(日本を含む)の債券などに分散投資し、国内債券では得られない収益機会を捉えることにより、「**国内短期金利+α**」を追求する商品です。なお、為替変動リスクについては、原則としてフルヘッジを行ない回避することをめざします*。マイナス金利という環境下、「債蔵」を、お客様の資産運用ツールのひとつとして、ご活用いただければ幸いです。

* 為替ヘッジを行なっても、為替変動リスクが完全に排除されるとは限りません。



* 当ファンドの設定から2016年1月末までの基準価額(税引前分配金再投資ベース)を使用し、日次騰落率の平均を年率換算したものです。基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものであることにご留意ください。

** 格付の注記事項については、5ページをご参照ください。



「債蔵」のご紹介(2016年1月末)

年次*
リターン **2.1%** ポートフォリオ**
の平均格付け

AA-

※上記は債蔵のリスク・リターンイメージ図であり、実際はこれと異なる場合があります。また、当ファンドの運用成果を保証するものではありません。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興・ピムコ・グローバル短期債券ファンド(愛称:債蔵)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ピムコ社からのメッセージ

<日本で導入されたマイナス金利の影響について>

日本では、マイナス金利の導入により、民間企業への貸出増加、そして、住宅ローン金利の低下による住宅市場の更なる活性化、といった実体経済へのプラスの効果などが期待されています。

債券市場では、一時、10年国債利回りがマイナスの水準となり、また、銀行間の短期金融市場では、マイナス金利での取引が成立する状況がみられました。ただし、金利が低下する一方で、為替市場では円高が進行し、日本の株式市場は大幅に下落するなど、今のところ、金融市場では必ずしも期待通りの動きにはなっていません。

<投資環境について>

金融市場では、中国景気の先行き懸念や原油安、米国経済の回復ペースに対する懸念などを背景に、年初から変動の大きな展開が続いています。米国において利上げが開始されたものの、世界的には低金利環境が継続していることなどから、ピムコ社では、基本的に世界経済は緩やかな回復が継続するとみています。ただし、金融機関に対する規制強化を背景とした市場の流動性低下の可能性などもあり、変動の大きな市場環境は、今後も継続すると考えています。

<これからの資産運用について>

日銀によるマイナス金利の導入を受け、預金金利が中長期的に低下する可能性があること、そして、日銀がインフレ率の上昇をめざしていることなどを踏まえると、今後の資産運用において、預金から投資へのシフト(預金代替投資)は、一段と重要になると考えられます。ただし、今後も、市場の変動が大きくなる展開が続くとみられ、また、国債などに投資をする国内短期金融商品のリターンは従来よりさらに低下すると考えられます。こうした中、投資家のみなさまが、預金代替などを視野に投資を考える場合、景気回復で先行する米国を中心としたグローバルでの利回り獲得を、よりリスクを抑えた方法でめざすことが、解決策の一つになるとみられます。

<当ファンドについて>

当ファンドは、世界各国(日本を含む)の債券などに分散投資し、国内債券では得られない収益機会の獲得をめざすファンドです。また、以下①②を踏まえて運用を行ない、比較的安定したリターンをめざしています。

- ①安定性 : 高水準の格付をもつ債券を選好し、かつ金利リスク(デュレーション)の抑制をめざす
- ②利回り水準 : グローバル市場での投資機会を捉え、円金利より高い利回りの獲得をめざす

足元の環境下、お客様の資産運用のツールのひとつとして、お役立ていただければ幸いです。

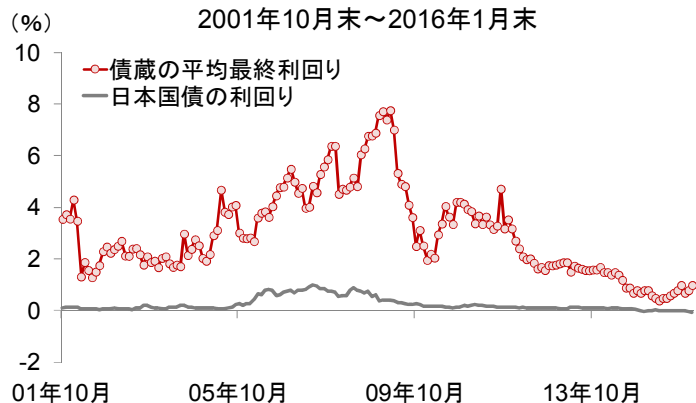
上記は、「日興・ピムコ・グローバル短期債券ファンド(愛称:債蔵)」の投資顧問会社であるピムコジャパンリミテッドからのコメントをもとに日興アセットマネジメントが作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方見方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

あらためまして、「債蔵」の魅力をお伝えします

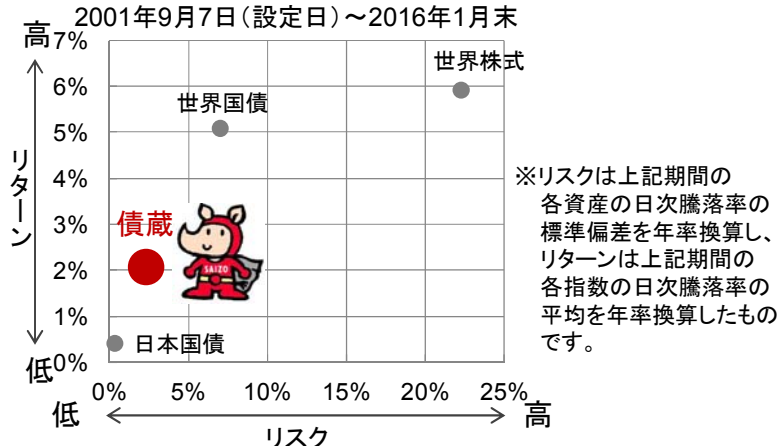
1. 日本国債よりも高い利回り水準

- 設定当初からの債蔵の利回りをみると、日本国債と比較して高い水準となっています。
- リスクの水準に鑑みて、リターンは魅力的であると考えられます。

＜債蔵の平均最終利回りと日本国債の利回り推移＞
2001年10月末～2016年1月末



＜「債蔵」と他の資産のリスク・リターン水準＞
2001年9月7日（設定日）～2016年1月末

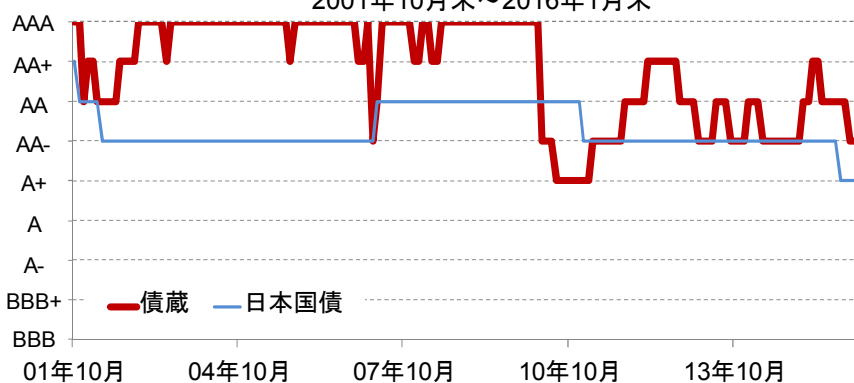


債蔵：基準価額（税引前分配金再投資ベース）、日本国債：シティ世界国債インデックス（日本、1年-3年）
 世界国債：シティ世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）、世界株式：MSCI ワールドインデックス（円ベース）
 ※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。
 ※基準価額（税引前分配金再投資ベース）は、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
 信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

2. 信用力にも配慮

- 債蔵の平均格付について、過去の推移をみると、日本国債と比較して概ね高い水準であり、信用力にも配慮した運用を行なっていることがわかります。

＜平均格付の推移＞
2001年10月末～2016年1月末



債蔵は、信用力の観点からみても、魅力が高いと考えられます。



※平均格付とは、データ基準日時時点で組入外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、組入外国投資信託に係る信用格付ではありません。格付の注記事項については、5ページをご参照ください。

日本国債：自国通貨建て長期債務格付（S&P社）
 信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成
 ※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

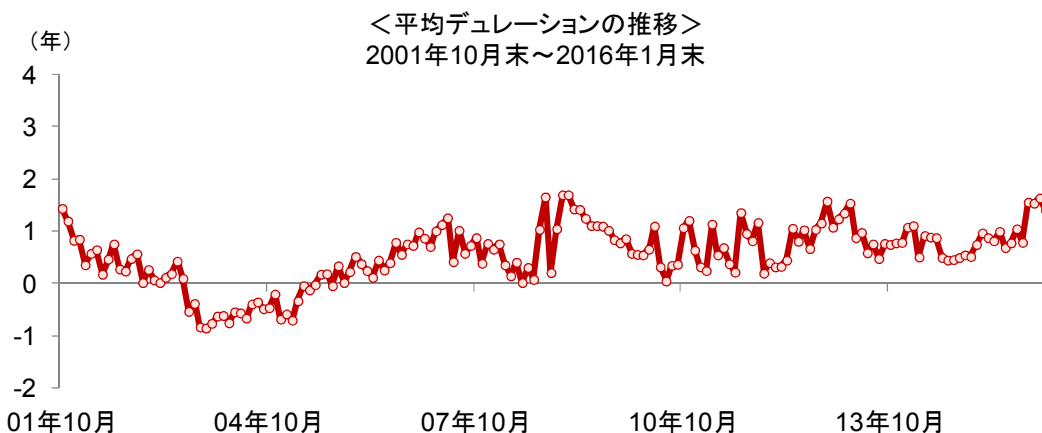
■当資料は、投資者の皆様へ「日興・ピムコ・グローバル短期債券ファンド（愛称：債蔵）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

あらためまして、「債蔵」の魅力をお伝えします

3. 金利変動にも配慮

- 債蔵は、金利の変動にも配慮し、デュレーション*を短く調整しています。こうしたことが、組入れ債券価格のブレを小さくし、結果として債蔵の安定感のあるパフォーマンスにつながっていると考えられます。
*デュレーションとは、金利が変動した場合に債券価格がどの程度変化するかを示す指標です。

金利変動による債券価格のブレにも配慮しています。



※デュレーションのマイナスは、実質的に債券を売り建てしていることを示しています。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

4. 為替変動リスクにも配慮

- 債蔵は、為替変動リスクを原則フルヘッジで回避することをめざしていることから、円高局面でも安定感のあるパフォーマンスを示してきました。
※ 為替ヘッジを行なっても、為替変動リスクが完全に排除されるとは限りません。

＜債蔵の基準価額と円レート(対米ドル)の推移＞
(2001年9月7日(設定日)～2016年2月19日)



為替ヘッジを行なっていたため、昨年末以降の円高局面においても、債蔵のパフォーマンスは比較的安定していました。



※「為替ヘッジ」を行なうと、一定のコスト(費用)がかかります。一般的に、円と為替ヘッジ対象通貨の短期金利差相当分がヘッジコストとなります。2国間の短期金利によっては、為替ヘッジプレミアムとなる場合があります。為替ヘッジを行なうと、円安時の為替差益は得られません。
※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。
※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

運用実績

＜基準価額の推移＞

2001年9月7日（設定日）～2016年2月19日



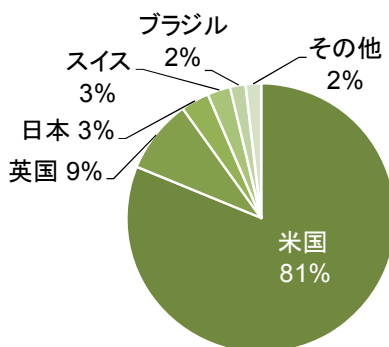
※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前のそれぞれ1万口当たりの値です。
 ※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
 ※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

ポートフォリオの概況 (2016年1月29日現在)

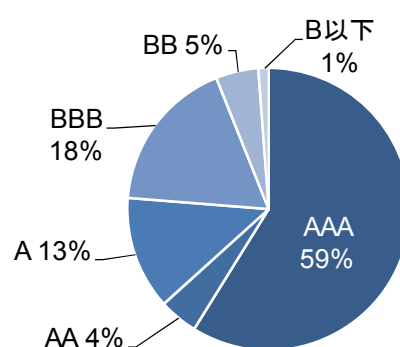
＜ポートフォリオの特性値＞

平均クーポン	1.7%
平均直接利回り	1.8%
平均最終利回り	1.0%
平均デュレーション	1.40年
平均格付	AA-

＜債券の組入上位5カ国＞



＜格付構成比率＞



※ポートフォリオの特性値は、組み入れられている債券・短期金融資産に加え、スワップ等を含めた実質的な数値です。
 ※債券の組入上位5カ国、格付構成比率は、組み入れられている債券・短期金融資産等の数値です。
 ※格付は、S&P社、ムーディーズ社のものを原則としており、格付機関により格付が異なる場合は、高い方を採用しております。
 平均格付とは、データ基準日時時点で組入外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、組入外国投資信託に係る信用格付ではありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興・ピムコ・グローバル短期債券ファンド(愛称:債蔵)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

- グローバルな投資対象から国内短期金利+αを追求します。
- グローバル債券運用のメリットを享受するためのファンド・オブ・ファンズです。
- グローバル債券運用で長期の実績があるPIMCOが運用する外国投資信託に投資を行ないます。
- 為替変動リスクは、原則フルヘッジで回避します。
- 収益の分配は年4回
- お申込手数料はかかりません。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

ファンドの仕組み

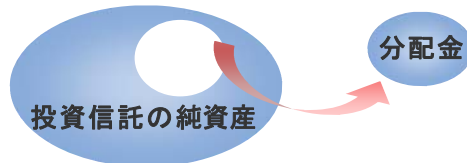


※ 当ファンドの運用は、委託会社である日興アセットマネジメント株式会社からファンドの運用の指図に関する権限の委託を受け、2本の投資対象ファンドへの投資配分をピムコジャパンリミテッドが行ないます。ピムコジャパンリミテッドは、PIMCO(パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー)の日本における拠点です。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

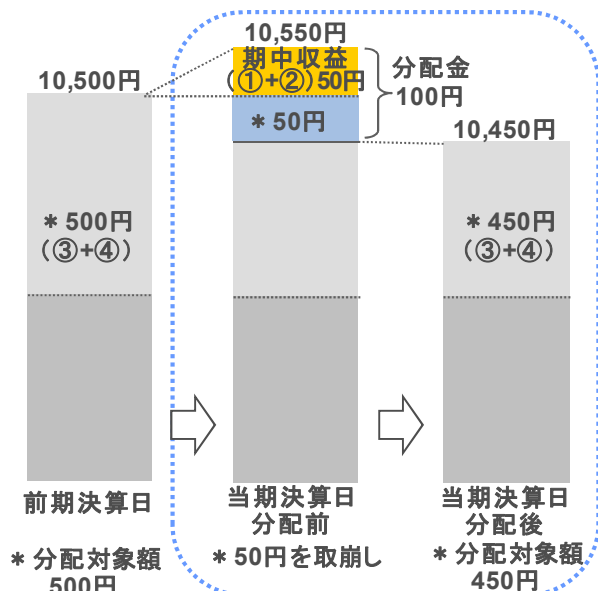
投資信託で分配金が支払われるイメージ



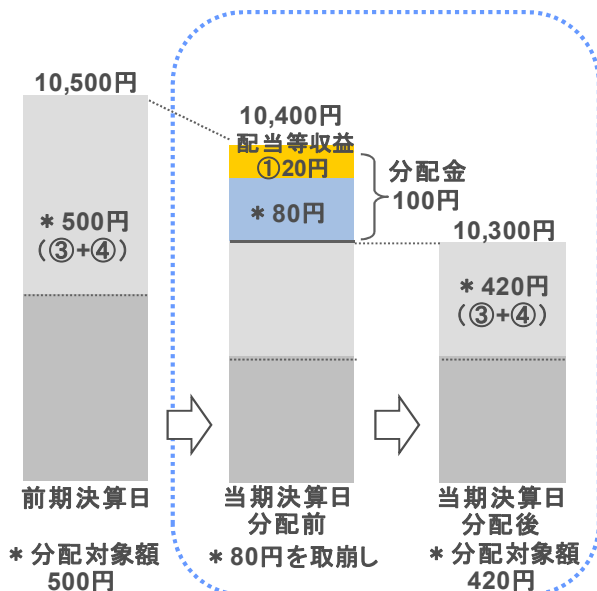
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



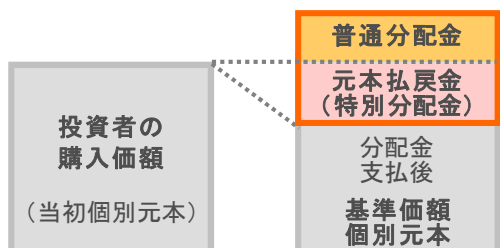
前期決算から基準価額が下落した場合



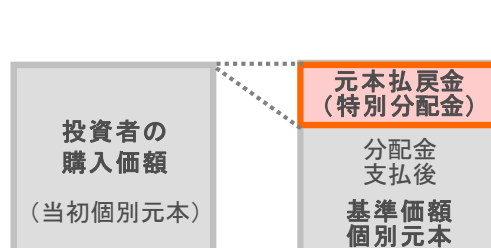
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金 (特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

お申込みに際しての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券および資産担保証券を実質的な投資対象としますので、債券および資産担保証券の価格の下落や、債券および資産担保証券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【デリバティブリスク】
【延長リスク／期限前償還リスク】【期限前償還に伴う再投資リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興・ピムコ・グローバル短期債券ファンド(愛称:債蔵)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

お申込メモ

商品分類	追加型投信／内外／債券
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日に当たる場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2021年9月6日まで(2001年9月7日設定)
決算日	年4回。毎年3月、6月、9月、12月の各5日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	換金請求日が下記のいずれかに当たる場合は、換金の請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 1. ニューヨーク証券取引所の休業日 2. 換金請求日から換金代金の支払開始日までの間(換金請求日および換金代金の支払開始日を除きます。)の全ての日がニューヨーク証券取引所の休業日に当たる場合
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	ありません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	純資産総額に対して年率0.73712%(税抜0.7%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。 ※投資対象とする投資信託証券の組入比率などにより変動します。
その他費用	組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など ※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
投資顧問会社	ピムコジャパンリミテッド
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] http://www.nikkoam.com/ [コールセンター] 0120-25-1404 (午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○		○	○

(50音順、資料作成日現在)